

ヒト・コト・モノが行き交う場所

いなぎの縁側 BOOK



編集

NPO 法人市民活動サポートセンターいなぎ

はじめに

まちの縁側とは



まちの縁側とは、

だれかにとっての居場所。

気軽に集えて、ホッと一息つけるところ。

おいしいご飯を囲む時間。

お互いに助け合う関係を育むところ。

新しい出会いがあり、新しい何かが生まれるところ・・・。

稻城には、

そんな場所がたくさんあります。

想いをもって、場を開いている人がたくさんいらっしゃいます。

この冊子は、

そんな素敵な場所や人たちのことを知ってもらい、

出会うきっかけをつくり、

縁側を開くきっかけや、ちょっとしたコツをお伝えすることで

稻城に縁側がさらに増え、

縁側を楽しむ人が増えていくことを目指して作りました。

この冊子が、稻城での暮らしをもっと楽しくする

きっかけとなりますように。

もくじ

ページ

- | | |
|----|--------------------------------------|
| 01 | はじめに—まちの縁側とは |
| 02 | もくじ |
| 03 | 3年間の取り組みの記録—縁側づくりの記録 |
| 04 | いなぎの縁側紹介 |
| 05 | 1 だんらん向阳台 |
| 06 | 2 だんらん矢野口 |
| 07 | 3 つながリーヨ |
| 08 | 4 中高生の居場所・FF |
| 09 | 5 Terrace Cafe 風の庭 |
| 10 | 6 カフェ石田さんち |
| 11 | 7 いな暮らし |
| 12 | 8 green world cafe |
| 13 | 9 ローズ亭 |
| 14 | 10 喫茶ポーポーの木 |
| 15 | 11 里山プロジェクトみなみ |
| 16 | 12 水車の会（上谷戸緑地体験学習館） |
| 17 | 13 稲城・なごみの家 |
| 18 | 14 支え合う会 みのり |
| 19 | 15 ふれあいセンター |
| 20 | 16 ママカフェ |
| 21 | 17 市民活動サポートセンターいなぎ ミーティングコーナー |
| 22 | 18 市民活動サポートセンターいなぎ オープンカフェ |
| 23 | 縁側をひらいてみよう!—縁側づくりのコツ |
| 25 | おわりに—縁側のあるまち |

縁側づくりの記録

市民活動サポートセンターいなぎでは、2012年から3年間「人と人が出会うまちの縁側づくり」をテーマにフォーラムを開催してきました。長野県での取り組みに倣い、地域のなかに気軽に集うことができる場所を増やしていくことを目的としています。

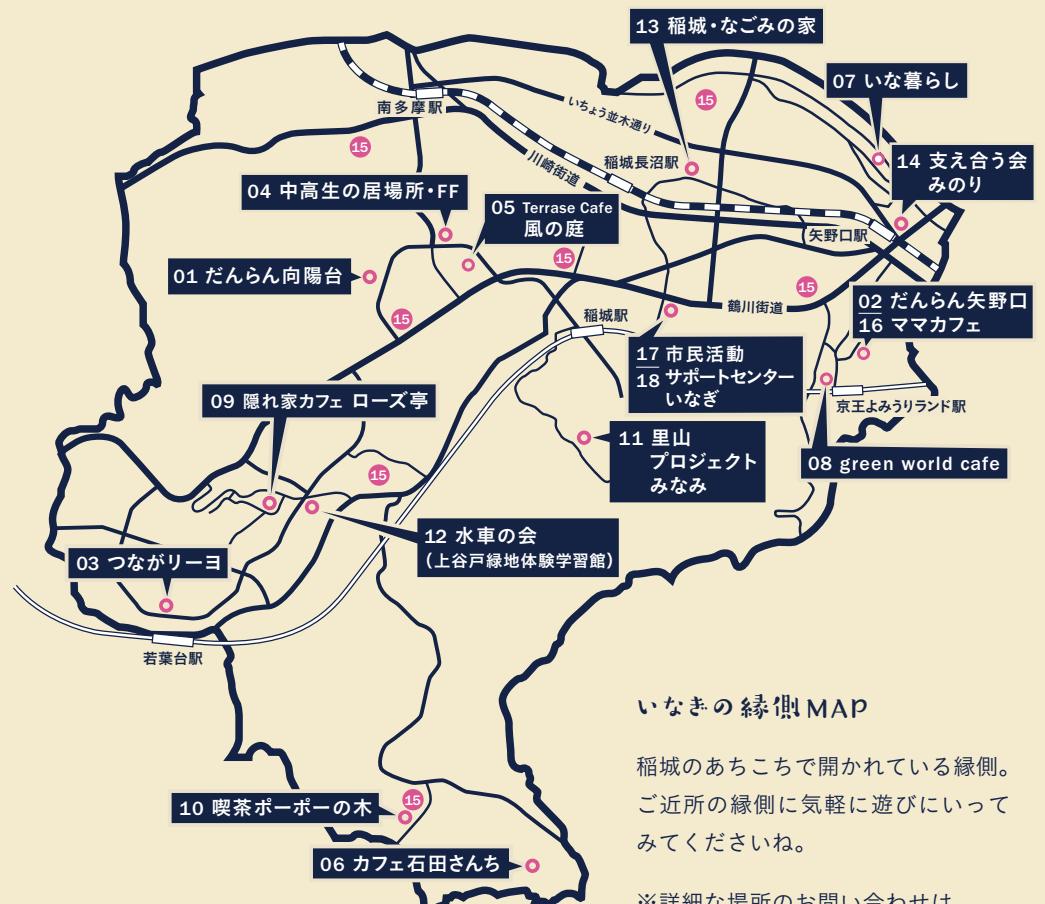
フォーラムでは稲城市内で集いの場を開いている方々による活動紹介や、先進的な取り組みをされている講師による講演、ざっくばらんな対話の時間をひらき、それぞれの活動が広がったり新しいつながりが生まれたりする貴重な機会となりました。



いなぎの 縁側紹介

縁側を開く人たちに、3つの質問に答えてもらいました。

- Q1. 始めたきっかけはなんですか
- Q2. どんなことをしていますか
- Q3. 印象深い出来事はなんですか



いなぎの縁側MAP

稲城のあちこちで開かれている縁側。
ご近所の縁側に気軽に遊びにいって
みてくださいね。

※詳細な場所のお問い合わせは、
それぞれの縁側にご連絡ください。

15 稲城市社会福祉協議会 ふれあいセンター



だんらん向陽台

おしゃべり / 体操 / ゲーム / 季節のイベント / ちょっとした相談ごと

向陽台のよりどころ



Q1. 地域のつながりの大切さに気づく

東日本大震災をきっかけに、地域のつながりの大切さに気づきました。2011年の6月頃、準備会という名前で何ができるか話し合いを始めましたが、「まずはやってみよう！」ということでお茶会からスタートしました。

Q2. 集まった人のやりたいことをする

毎回、集まった人たちでやりたいことをしています。おしゃべりをしたり、ゲーム、体操をしたり・・・。公民館の出前講座の講師に来ていただくことも。クリスマス会など、季節の行事も開いています。包括支援センターの職員の方も毎回いらして、相談をすることもできます。

Q3. すっかり顔なじみに

落語や音楽コンサートなど、色んな会を開いているうちに、参加者同士すっかり顔なじみになりました。積極的に場を楽しくしようしてくれる人も増え、毎回みんなで楽しい時間を過ごしています。



だんらん矢野口

食事会 / 味噌仕込み / 音楽ライブ / おしゃべり（メンバーによって変化）

食卓を囲んで楽しくおしゃべり

Q1. 横のつながりを広げたい

地域新聞を作っていたことをきっかけに、出会った人たち同士が繋がれる場があればいいなあと思い始めました。稻城の農家さんや地域野菜の良さを知ったこともあり、食卓を囲みながら伝えていけたらと思っています。

Q2. 稲城野菜を囲んでいろんな世代で集える場

参加するメンバーによって、味噌仕込みをしたり、ライブを開いたり体操をしたり、回ごとに内容はさまざま。幅広い世代、いろいろな立場の人が、気軽に来れるような場にしていきたいなあと思います。

Q3. 新しい動きが始まることが嬉しい

だんらん矢野口で知り合いになった人たち同士が、よく遊ぶようになったり、ある人が、やってみたいことを話したら、協力者が現れて実現に至ったり・・・この場をきっかけに、新しい何かが生まれていくことは嬉しいです。



つながリーキョ

長屋のような近所づきあいを育む場所

みんなの居場所 / 多世代交流 / おしゃべり / 囲碁・将棋 / ボードゲーム / クラフト

Q1.人と人との
つながっていく
街にしたい

年長者と子どものふれあいを大切に、地域全体で子どもを見守り育てる場・居場所をつくり、人のつながりのある昔の長屋のような近所づきあいのできる街にしていきたく、地域の年長者や保護者のみなさまと一緒に 2010 年に立ち上げました。

Q2.自由にきて
自由に過ごせる
居場所

若葉台の i プラザの大会議室で、毎週水曜日の 15 時～17 時まで開いています。地域の子どもから大人、ハンディキャップを持つお子さんにも分け隔てなく場を開き、自由に遊んでいます。

Q3.地域の交流のなかで
育っていく

やんちゃだった小学生の子が年月を経て成長して、しっかりした姿を見せてくれた時は、子どもが地域の交流の中で育っていった変化を目の当たりにすることができ、とても感動しました。



中高生の居場所・FF

寄り添ってくれる人がいる場所

自由に過ごせる場所 / おしゃべり / スポーツ / 勉強の相談

Q1.中高生に居場所を

学校でも家でもない、地域の中に中高生たちが安心していることができる居場所をつくろうと、地域の大人们で、城山文化センターにて 2001 年から活動を始めました。学校や長峰地区との合同の活動を経て、現在も居場所をひらき続けています。

Q2.気持ちに寄り添い
受けとめる

城山文化センターの 3 部屋をお借りして、毎週水曜日におしゃべりや軽いスポーツ、勉強ができるような環境を用意しています。ここに来る子、一人一人の気持ちに寄り添い、「ここに居ていいいんだ」と思える場と関係をゆっくりとつくっています。

Q3.また会いにきてくれる

多感で不安定な時期を一緒に過ごした子どもたちが地域でそれ違いざまに挨拶をするようになったり、通っていた子が大きくなり、子どもを連れて挨拶に来てくれたり、またこの場に遊びに来てくれることがとても嬉しいです。



Terrase Cafe 風の庭

心地よい風とおしゃべりが行き交う庭
テラスのテーブルを囲んでのおしゃべり



- Q1.**つながりの
弱い地域だから
集いの場をつくりたい

向陽台で2014年から始まりました。まわりの街から人が集まってできた新しい街だから、昔から続く地域と比べるとコミュニケーションが少なく、自宅の庭で交流できる場をつくりたいと思い始めました。

- Q2.**集まっては楽しく
おしゃべり

月に一度、第2水曜日に集まっては、開放感のある庭でテーブルを囲んでおしゃべりしたりしています。最初はテーマを決めて話しをする会から始まったけれど、だんだんと今の形に落ち着いていきました。

- Q3.**自由な雰囲気が
心地いい

自由にふらりと来れる雰囲気がとても居心地よく、楽しい時間を過ごせています。和やかな話題から、時々真面目な話になったり、情報交換の場にもなっていて、会話が途切れません。



カフェ石田さんち

平尾のみんなが集まる家
茶話会 / 合唱 / おしゃべり / ゲーム / 健康体操 / 夕食会



- Q1.**ご近所の輪を
広げたい

近くに公民館がなく、地域で気軽に集まりお互いに声をかけやすい関係になりたい、持ちつ持たれつのさりげない助け合いの関係をつくりたいと、2012年から始めて3年が経ちました。歩いて来れる近所の方もいれば、団地からバスで来られる方もいらっしゃいます。

- Q2.**毎月第3土曜日の
楽しいひととき

毎月第3土曜日の午後にオープン。ゲームをしたり、歌を歌ったり、それぞれ楽しく時間を過ごしています。200円の参加費でプロの淹れたコーヒーと手づくりのケーキを出しています。不定期にワンコインのランチパーティ、おひとりさまの夕食会をしています。

- Q3.**互いを気にかけ
声をかけ合う関係に

ここで顔見知りになった同士、声をかけ合う新しいつながりが生まれています。気分転換や情報交換ができる、相談しやすい雰囲気づくりを大切にしています。



いな暮らし

食事・お茶 / 雑貨販売 / パン・菓子の販売 / 絵本の会 / 映画会 / ヨガ / マルシェ

Q1. 始まりは 自宅のガレージ

坂浜の農家さんでつくられた美味しいみかんを知ったことがきっかけです。今まで稻城に住んではいたけれど知らないことがたくさんあって知れば知るほどいいもの、素敵な人、いいところが沢山あることが分かり、紹介をしたいと思い、母と娘、自宅のガレージから始めました。

Q2. 食べよう 話そう つくろう

「食べよう・話そう・つくろう」をみんなで出来る場を開いています。稻城の野菜をおいしく食べられるようにつくったご飯も出しています。この店を自分たちだけでつくるのではなく、それぞれに得意なものを持ち寄ってもらなながら、一緒につくっていきたいと思っています。

Q3. 家族のような風景

一年間、場を開き続けたら、暮らしをつくるあれこれが稻城の中でまかなえるようになってきました。赤ちゃんからご年配の方までたくさんの人が集まり、2人ではできないことが実現できています。この場から、大きな家族のような風景が生まれてきているように感じています。



green world cafe

食事（ランチ・ディナー）・お茶 / 音楽ライブ / 様々なイベント / 森でのイベント

Q1. 基地をつくりたかった

稻城の自然の中で活動をしたあと、感じたことをシェアできる基地が欲しかったんです。そんなことを思っていた2012年、今のお店の場所で、とある事情でお店を続けられなくなった人が現れて、そこに人が集まる場所をつくれたらと思い始めました。

Q2. 人とまちをつなげる 架け橋になりたい

人とまちをつなげる架け橋になりたいと思っています。町に興味のなかった人、稻城で活動をしたいと思っている人、色々な人がカフェやライブという場で交わり、つながっていく。カフェや音楽活動を通じて、「green world」という輪を広げていきたいと思っています。

Q3. つながりが どんどん生まれている

カフェやライブ、地域のイベントという場から様々なつながりが生まれて、年を重ねるごとに、そのスピードが早く、広くなってきているのがとても印象的です。そのつながりの中から、新しい動きもあちこちで生まれ始めています。



隠れ家カフェ ローズ亭

手づくりのケーキ / コーヒー / 演奏会

来た人が一人でも元気になってくれたらいい



Q1. 一人でも
気持ちがスッキリして
くれたらいい

人とおしゃべりをするのが好きで、一日、一人のお客様でも、季節の花や鳥の声などをききながら「今日は良い一日だった」と思ってもらえたと、始めることを決めました。

Q2. 江戸時代からある
長屋門の一室を改装

江戸時代の頃に建てられた長屋門の門番の部屋を改装して、コーヒーや自家農園の果物を使った手づくりのケーキを出すカフェを開いています。日曜日には天然酵母の焼きたてパンを出したり、時々コンサートも開催しています。

Q3. 知らない人同士でも
仲良くなってしまう

15席ほどのお店の広さがちょうどよくて、初めて会った人同士なのに会話が始まる不思議な空間です。そこからお家に遊びに行くような知り合いになったことには驚きました。



喫茶 ポーの木

食事 / 多目的スペース / 演奏会 / 季節のイベント / 駄菓子コーナー

元気になる喫茶

懐かしい駄菓子の
コーナーもあるよ



Q1. 地域の
ネットワークづくりの
ひとつとして

高齢になっても地域で助け合えるような仕組みづくりに取り組んでいるNPOふれあい広場ポーの木です。事業の一つとして、平尾団地商店街の空き店舗に、誰もが集える喫茶を始めました。

Q2. バランスのいい食事と
活動の場として

3年連続でグッドバランスメニューの金賞を受賞した、野菜中心のバランスのとれた日替わりランチを出しています。2階は多目的スペースでボランティア講師による水墨画や水彩画といったクラブ活動を開催しています。喫茶の壁面は地域の人たちの作品を展示しています。

Q3. お話をして
元気になっていく

ランチを食べたり、コーヒーを飲んだりしていくうちに、お客様同士で声を掛け合いお互いに支え合う輪がこの場所から広がっています。



里山プロジェクトみなみ

里山の手入れ / 写真展 / 演奏会 / ジャガイモ掘り / 芋煮会 / 昆虫観察会



Q1. 恩返しをしたい

南山の開発問題を巡る動きが活発な時、山からいつも恩恵を受けている自分たちが何か手伝えることはないか、手を動かせることはないかと、下草刈りを手伝わせて頂くことから活動がはじまり7年、少しづつ活動が広がっていきました。

Q2. 本来の里山の姿に戻していく

「一の森」という会で所有している土地で下草刈りや、植樹と言った手入れをし、里山の本来の姿に戻していく取り組みをしています。野草散策や、音楽ライブの会場など、薮だらけの場所から一転、色々な人の活動の場として、利用してもらえるようになりました。

Q3. やればやるほど変わっていく

手を入れるほど植物が芽を出し、豊かに変化していき、こんな楽しいことはないと思っています。2013年に京王線の沿線広告のひとつにこの場所が使われましたが、ここに散策に来ている親子が「素敵な場所」として選んでくれていたことがとても印象深いです。

南山 一の森
稻城駅から徒歩20分程度

【定例活動日】毎月第1・第3日曜日 10:00～
【連絡先】kandyandbell@u01.gate01.com (多村)



写真：白井誠二氏 提供

かさやと 水車の会(上谷戸緑地体験学習館) 上谷戸で続く、自然と文化

自然体験 / 畑作業 / 季節の行事 / ホタル観賞 / 節句人形の展示



Q1. 上谷戸の風景を残してほしい

ニュータウンの開発が進んでいた頃、上谷戸も埋め立てられ住宅地になるはずでした。しかし、地域住民からの反対の声があがり埋め立てず橋を架けることに。そこに公園が作られ、体験学習館が建ち、水車の会の活動も始まりました。

Q2. 昔の文化を今に伝える

子どもたちを対象に芋掘りや焼き芋、うどん作り、柏餅づくり、わらぞうり作りなど、自然体験や季節の行事を開き、昔の文化を伝える機会として、多くの人が賑わいます。3月には、地域で集められた沢山のひな人形、5月には鯉のぼりも気持ちよく空を泳ぎます。

Q3. 生物がない川にホタルが飛ぶようになった

上谷戸の昔からの風景がよく残ってくれたと思う。一時は汚れてほとんどの生物がいなくなってしまった上谷戸川も再生し、ホタルの会の活動も10年目、育てて放流していたホタルも4年ほど前から少しづつ自然発生するようになりました。

稻城市若葉台1-2-21
上谷戸親水公園内

【活動日時】お問い合わせください
【連絡先】042-331-7112 (上谷戸緑地体験学習館)



稻城・なごみの家

誰もがイキイキとなる家

食事 / 習字 / ヨガ / なごみカフェ / 絵手紙づくり / ちまちま手作り / 民謡



Q1. 地域の高齢者の
集いの場をつくりたい

2007年、引越しのために空き家となった一軒家を、地域の福祉のためにならとお借りする事ができ、「地域のひとりぼっちをなくそう」を目指して、有志で立ち上げました。これから多くの方々からのご支援を頂きながら続けていきたいと思っています。

Q2. たのしい行事が
盛り沢山

週に3日ほど、習字や民謡、お食事会やものづくり、第4文化センターも利用して太極拳やヨガなど、たくさんの行事を行っています。2015年の6月から、気軽に立ち寄れる場所として「なごみカフェ」を開始しました。おしゃべりやコーヒーを楽しんでいってくださいね。

Q3. それぞれの得意な
ことが発揮できる

行事では利用者が互いに先生となり、自分の得意なことを発揮されています。なかには和やかな雰囲気で、なごみの家に通ううちに気持ちが上向きになり、元気なった方もいらっしゃいます。

稻城市東長沼
稻城長沼駅から徒歩5分

【定例活動日】毎月第1・第3日曜日 10:00～
【連絡先】042-377-6118 (滝澤)

支えあう会 みのり

配食サービス / 会食会 / たまりば（ミニデイサービス）稻城市委託事業

Q1. 安心して
住み続けられるために

高齢者の福祉を自分の問題として考え、住み慣れた地域に安心して住み続けられる地域をめざして、1983年に発足。会食会から始まり、その後配食サービスをスタートしました。おいしい食事を食べてもらいたいと、最初はお弁当を徒歩や自転車で配達していました。

Q2. 参加する人の
希望にあわせた
食事と交流

居場所を目指すたまりばは矢野口拠点ビルの2階です。麻雀・朗読・居酒屋・手芸・句会・世代間交流・男の料理コスモス（献立を考え、作って食べて遊ぶ会）布ぞうりを作る会など参加する人の希望に合わせて食事とおしゃべり交流を図っています。

Q3. 自分たちのまちに
居場所が30年以上
在り続けていること

お互いの意見・希望を尊重しあい、アイデアを出し合い、やりたいことが実現できる場所として地域での活動をこれからも続けて行きたいと思います。

稻城市矢野口364-3 矢野口駅前すぐ 【活動日】会報「みのり」をご覧ください。(ブログからダウンロード可)
<http://blog.canpan.info/sasaeukai/> 【連絡先】042-378-8757 (支えあう会 みのり事務所)



ふれあいセンター

手芸 / 茶話会 / 会食 / カラオケ / ボードゲーム / 季節の行事 / バスハイク

Q1. 地域の方に支えられ
市内の各地域に開室

高齢者などが気軽に集まりつつろげる場所をつくろうと、平成9年から開室。現在は、平尾、押立、坂浜、矢野口、百村・東長沼、向陽台、大丸に設置しています。地域のコーディネーターの方々とともに、地域性を生かした様々な取り組みをしています。

Q2. みんなに開いた
地域の縁側

月・水・金の10時から15時（大丸地区のみ月・木・金）まで、お茶を飲みながらおしゃべりしたり、カラオケをしたり、趣味を楽しんだりしています。男性の方にも来てもらえる工夫もしています。運営のボランティアに、交代で地域の方が来ていただいています。

Q3. 人との出会いが
元気してくれる

ふれあいセンターに通ううちに、知り合いも増え、表情が明るくなった方もいらっしゃいます。夏になるとおまつりも開催しており、子どもから大人まで150人以上集まります。



ママカフェ（第二児童館）

おしゃべり / 読み聞かせ / 折り紙工作

Q1. 児童館に
お母さん方の
集える場所を

Q2. ゆっくりできる
スペースをつくる

Q3. くつろいだ表情を
見れたとき

核家族が多く孤立しがちな社会で、思いを打ち明けられないお母さん方が増えています。児童館の役割を考えたとき、交流を通じて悩みやストレスを解決できる場を提供したい、子育て中のお母さんが子どもと一緒に気軽に集まれる場を作りたい！という想いから始めました。

お母さんがゆっくり雑談できるスペースとお母さん方の目が届く範囲で、子どもたちが遊べるスペース（おもちゃを出し、音楽を流す）を作っています。時々、読み聞かせや折り紙工作なども行っています。

音楽に合わせて楽しくおどる子どもたちを見守りながら雑談するお母さん方のくつろいだ表情を見ることができたときは、「ママカフェ」という空間を作れてよかったです。



市民活動サポートセンターいなぎ ミーティングコーナー

簡単な打合せ／金曜サロン(スペシャル)／印刷後の作業／談笑

Q1. 気軽に集える場所を作りたかった

市民活動をする時に、気軽に使える場所が欲しいね！例えば、申込みなしでも空いていればすぐに使える。印刷をした後に、そこで作業もできたらいい。市民同士が触れ合えるサロン活動のようなこともやってみたい。そんな声を受けて設けられました。

Q2. 100回を超えた
金曜サロンスペシャル

連日のように様々な団体が打合せなども利用しています。毎週金曜日の夜には誰でも参加できる金曜サロンを、オープン以来ずっと続けています。また、毎月第1金曜日には市内在住、在勤者を話題提供者としてお招きする金曜サロンスペシャルを開催、すでに100回を超えました。

Q3. もっと気軽に集える
まちの縁側に

100回を超えた金曜サロンスペシャルは、登壇した方も100人以上、こんなに沢山の話し手がいたことに驚いています。同時にそれは、誰でも話し手になれる可能性があるということで、ここがもっと楽しい出会いの場になつたらいいなあ～と思っています。



市民活動サポートセンターいなぎ 出前型オープンカフェ

コーヒー・ケーキ・軽食／まち歩き／れんげまつり／大丸用水のガイド
来訪者とのふれあい

Q1. まち歩きを
もっと楽しく

稲城には緑がいっぱいある。大丸用水のような貴重な文化遺産も残っている。そんな魅力を発見しながらのまち歩きは楽しい。でも、ちょっと休憩できコーヒーでも飲みながら交流できる場所があったらもっと楽しくなる・・・。そんな動機から、2013年から始めました。

Q2. ちょっと一休み
そして交流

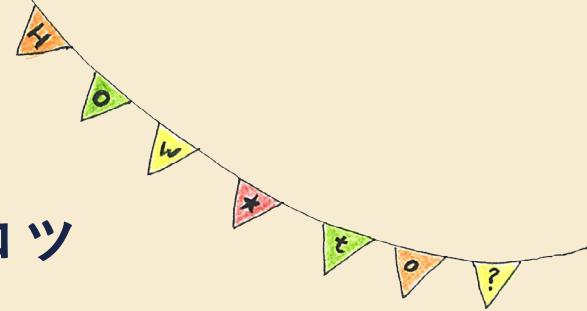
観光課や電鉄会社主催のまち歩きの途中で、テント1つ、テーブル1つの出前カフェを出店。そこではたちまち、楽しい交流が始まります。昨年から「大丸用水れんげまつり」に実行委員として関わりながら出店し、今年から「稲城ア波踊り大会」にも出店しています。

Q3. リピーターになって
くれたらいいな

まちの魅力は、歩くだけではなく参加者同士や参加者と地元の人とがふれあうことで倍増します。オープンカフェは、その意味でとても役立っていると実感しています。電鉄会社主催のまち歩きでは、市外からの参加者が多く、その方々と交流できたのがとても印象的でした。

縁側をひらいてみよう！

縁側づくりのコツ



縁側を自分でもひらいてみたい！ 集いの場をつくりたい！

でも、どんなことから始めれば・・・。

そんな、縁側づくりの第一歩を踏み出そうとしているあなたへ、

縁側づくりをする時の大切なことをまとめました。

縁側づくりの手引きとして、お使いください。



1 初めの想いを大切に

縁側をひらこうと思った時の、初めの想いを大切にしよう。こういう場所になつたらいいな、こんな事をやつたみたい、あの人に来てもらいたい、というあなたの想いが活動の原動力になります。



2 やってみた!ことを 声に出す

こんな事をやってみたい、こういうことに興味がある、あなたの想いを近くの誰かに伝えてみよう。思っていることを誰かに伝えることから、あなたの活動は始まります。

3 いまある縁側に 参加してみる

どこかの縁側に行ってみるのもいいかもしれません。

稲城にはすでに縁側の活動をしている人たちが沢山いますので、お話を聞きに行ってみてください。みなさん、心よく迎えてくれる方ばかりです。



4 積極的に 誰かに頼ってみる

全てを一人でやろうとせず、積極的に誰かに力を貸してもらおう。地域のつながりは誰かに頼ることから生まれていきます。不安なことがあつたら、相談してみるのがいいですよ。



5 無理のない範囲で まず、やってみる

周りの知り合いに声をかけてみよう。月に一度のペースで縁側を開いてみよう。最初は、無理のない範囲で出来ることからやってみる。最初の一歩を踏み出すことが大切です。



縁側のあるまち

自分にとっての居場所が、地域の中にあるということ。誰かと会えたり、おしゃべりできたり、一緒に食卓を囲んだり、時には相談ができたり・・・。気持ちが休まる場所が、自分の住む地域に一つでもあるとすれば、それはとても幸せなことではないでしょうか。

市民活動サポートセンターいなぎでは、2012年から3年間「まちの縁側づくり」をテーマにフォーラムを開催してきました。その中で地域の集いの場づくりに取り組む多くの方々に出会いました。

個人や団体、お店・自宅、公民館、自然の中…。場所や活動の形はそれぞれ違っていても、「ここにちは」と声をかけてくれる人がいて、その場から育まれるゆるやかな顔の見えるつながりのあたたかさは、何とも言えない「安心感」をつくり出します。時には「自分にも何かできるかも」と背中を押してくれる、とても心強いものになることでしょう。

この冊子に載せきれなかった「まちの縁側」が、稻城にまだまだあるはずです。「まちの縁側」が増え、挨拶が行き交う、お互いに少しづつ気にかけながら日常を過ごせる街になっていけば、孤立を防ぎ、様々な社会問題を予防する大きな力になっていくはずです。

これからも市民活動サポートセンターいなぎでは、良好な市民活動の輪を広げていくために「まちの縁側」づくりを応援、実践してまいります。

いなぎの縁側 BOOK

発 行	NPO法人市民活動サポートセンターいなぎ
発行日	2015年10月9日
編 集	小林攻洋 川本安岐夫 (市民活動サポートセンターいなぎ) 井手 大 (LOCAL DESIGN LAB)
デザイン・写真・文	井手 大 (LOCAL DESIGN LAB)
イラスト	鈴木 萌 (いな暮らし)
手書き文字	秋山かをり

NPO法人市民活動サポートセンターいなぎ
〒206-0802 稲城市東長沼2112-1 地域振興プラザIF
電話: 042-378-2112 メール: info@i-inagi-support.org
ウェブ: <http://i-inagi-support.org/>

『市民活動サポートセンターいなぎ』では、市内の社会貢献活動を目的とした活動団体や個人の活動をより活発化し、相互に交流ができるよう、次のような支援を行っています。

- ・各団体のイベントのPR
- ・活動団体同士の交流のコーディネート
- ・個人でも気軽に参加できる交流の場の提供
- ・今後の活動希望者への提案・勉強会の開催
- ・団体運営に関する技術的なサポート体制の構築

いなきの縁側 BOOK

